



そだてよう福祉の心・ひろめよう福祉の輪

No. 23

2015. 01

社会福祉協議会情報

ふれあい

福智町社会福祉協議会

- | | | | |
|---------------|---|-------------------|---|
| ・会長新年のあいさつ | 2 | ・赤い羽根共同募金の御礼 | 6 |
| ・社会福祉協議会の事業紹介 | 3 | ・ふくおか“きずな”フェスティバル | 7 |
| ・社会福祉協議会の事業報告 | 4 | ・福祉入門教室 | 8 |



この社協情報は皆様からの共同募金、寄附、賛助会費によって作成されています

100

古紙配合率100%再生紙
を使用しています





新春のご挨拶

社会福祉法人 福智町社会福祉協議会

会長 白石 勝彦

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、健やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

旧年中は、福智町社会福祉協議会の運営並びに福祉事業の推進におきまして、町民各位・行政・議会・関係機関団体等の多くの方々の一方ならぬご協力とご理解を賜り、心より感謝いたしますとともに厚く御礼申し上げます。

早いもので、旧3町の社会福祉協議会が合併し9年になります。その間、社会保障に関する制度は大きく変わってきています。障害者総合支援法が施行されると、今年4月には介護保険法が改正され、生活困窮者自立支援法も施行されます。制度改正が相次ぐ中、地域の福祉課題も多様化し複雑化するとともに、高齢化率も福智町では28%を超え、今後さらに高齢化が進む中で多くの課題が山積みされています。このような中、地域福祉の推進を目的とする社会福祉協議会の役割はますます重要性を帯びてきています。そのことをしっかりと胸に刻み「安全で安心して暮らせる地域づくり」に取り組んでまいります。

その具体的な対応として、福智町ではより地域に密着した活動を迅速に効率よく展開するために福智町地域包括支援センターを中心として、中学校区単位でサテライト（福祉の推進拠点）を設置し、様々な課題に取り組んでいく体制を検討しています。

社会福祉協議会としても地域包括支援センター及びサテライトと協働して、福智町の「地域包括ケアの推進」と「地域のコミュニティづくり」を積極的に支援・推進してまいります。社会福祉協議会がその役割を果たすためには、もう一度社会福祉の原点に帰り、そして新たな将来像を描くことが重要であり、その実現に向けた取り組みをあこなわなければなりません。これまでの地域福祉活動の実践の中で培われた経験を生かして、専門性とフットワークで地域の様々な社会資源を結び付け、「安全で安心して暮らせる地域づくり」のために「地域の福祉力」を高めていくための支援をあこなってまいります。

これから多くの福祉課題が地域で顕在化してくる中で、福祉に対する町民の負託にこだえるため、社会福祉協議会はこれからも地域に軸足を置き、地域住民と「汗をかき」、「知恵を絞り」、「ともに語り合い」、「共に学ぶ姿勢」を持ちながら、役職員一丸となって地域福祉の推進に取り組んでまいります。

また、「安全で安心して暮らせる地域づくり」の実現には、住民の方々や行政・議会・関係機関団体のご理解とご協力なくしては実現不可能と申しても過言ではございません。今後も役職員一同、心をひとつにして鋭意努力してまいる所存でございますので何卒よろしくお願い申し上げます。最後に、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶にかえさせていただきます。



子育て応援します ファミリーサポート事業 をご利用ください



- 冠婚葬祭で子どもの面倒がみられない
 - 病院に行くときに一緒に連れていく
 - 保育園の送迎をあねがいしたい
 - たまには気分転換がしたい
- などで子どもをあずかってもらいたいと思ったことはありませんか？ ファミサポ事業では、子育てサポーター養成講座を修了した「まかせて会員」さんが、あなたの子どもを預かります。

対象の子どもは6ヵ月～小学6年生です。
初めてご利用の方は、会員登録、オリエンテーション、事前の顔合わせ等がありますので、できれば1週間前までにご連絡ください。

**利用料金 月～金 AM6:00～PM8:00 1時間 500円
土・日・祝日・年末年始・上記以外の時間帯 1時間 800円**

申し込み・問い合わせ：地域福祉課 22-3778



誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指して 地域や企業で認知症サポーター養成講座を開きませんか？

尊厳をもって最後まで自分らしくありたい。認知症は誰にでも起こりうる脳の病気です。85歳以上では、4人に1人にその症状があるといわれ、今後超高齢社会を迎えるにあたって認知症高齢者数も急増することが予想されています。認知症になっても安心して暮らせるまちは、「誰もが暮らしやすいまち」でもあります。認知症の人や家族を見守る「応援者」である「認知症サポーター」の養成を通じて、福祉のまちづくりをご一緒にすすめてまいりましょう。

◎認知症サポーター養成講座で何を学ぶの？

認知症とはどのような病気なのか？ 認知症の方々とどのように接したら良いのか？ などああむね60～90分の所要時間で皆さまのご要望に合わせて内容を提案します。開催費用は無料です。講座で得た知識を、職場での仕事や地域づくりにお役立てください。

◎認知症サポーターとは？

認知症を正しく理解し、認知症の人や家族の方々をあたたかく見守る応援者（サポーター）です。

問い合わせ：地域福祉課 22-3778



まちぐるみの支え合い 見守りネットワーク 協定事業所募集

福智町社会福祉協議会では、地域支え合い体制づくり事業の一環として、見守りネットワーク協定事業所を募集しております。これは、日ごろ配達・販売・窓口業務などで住民の方と接する機会のある事業所の皆さんにご協力をいただき、高齢者や障がい者、子どもなどの異変に気付いた場合、社会福祉協議会に連絡をいただくことによって、社協は関係機関と連携し対応・支援をおこなっています。

問い合わせ：地域福祉課 22-3778

多くの事業所の皆さまのご協力で、町ぐるみの支え合いの体制をつくりましょう！！

1月現在の協定済事業所（順不同・敬称略）

郵便事業株式会社伊田支店
郵便局株式会社 金田郵便局、方城郵便局
吉田環境整備有限会社 筑豊衛生環境有限会社
有限会社伊藤清掃 有限会社佃清掃
有限会社かいた環境開発工業
西日本新聞エリアセンター金田方城
読売新聞・読売センター赤池 塚の米屋
佐川急便株式会社 イフタニ九州（株）下田川ガス営業所

ボランティアセミナー(基礎編)を開催



10月3日、ボランティアセミナーを開催し、26名の方が参加しました。テーマは「ボランティア基礎編自分を見つけるボランティア～はじめの一歩を踏み出す」でした。講師のヒューマン・エンパワーメント研究所代表の永渕美法さんは「今は個々が自分の意志とパワーをもって、自由に新しい価値観や信念を築き上げる時代になった。退職後は様々な活動に参加できるチャンスもある」と話されました。またひとりひとりが持つパーソナルパワーをボランティアに活かしてもらいたい。ボランティアは自分のためにもなるもので、本当に楽しいものだと語られました。

子育てサポーター養成講座を開催



11月16日、金田保健センターにて「子育てサポーター養成講座」を開催しました。これはファミリーサ

災害ボランティアセンター 設置運営訓練に参加



田川地区社協連絡協議会主催で10月18日に災害ボランティアセンター設置・運営訓練をおこないました。災害が発生したとき、社会福祉協議会には被災者とボランティアを結び付ける「災害ボランティアセンター」の設置が求められます。いざというときにセンターを迅速に設置・運営できるように、また田川地区社協同士で協力体制ができるようにしておくことが目的です。福智町社協からは8名の職員が参加し8月の広島豪雨災害時のボランティアセンターの動きを学んだあと、実際に設置のための準備や運営の疑似訓練をおこないました。



ポート事業のまかせて会員さんを養成するための講座です。地域で子育てを気軽に応援できる仕組みづくりが目的で、この講座では子どもを預かるために必要な知識（地域での子育ての必要性、子どもの遊び、預かるための環境づくり、話をきく力など）を学びました。12月6日には、金田分館にて「乳幼児・児童に対する応急処置」の講義と会員さんの交流会をおこないました。福智町ではまだまだファミサポ事業が広まっているとはいえません。ファミサポ事業の紹介をおねがいします。事業の詳しい内容については3ページをご覧ください。



ボランティアセミナー（応用編）を開催



12月5日、ボランティアセミナー（応用編）を開催し、18名の方が参加しました。テーマは「ボランティア応用編 そこにも！ここにも！さまざまなボランティア活動」でした。福祉の分野以外にもさまざまなボランティア活動があり、ボランティア活動をやりたいと思ったときには、まず自分の周りをよく見て、いま必要とされていることを探す。そして何ができるかを考え、仲間を集めていくことが大切であり、長く活動を続けていくためには無理をしないことが重要だと言われました。

小地域見守り・助け合い ネットワーク研修会を開催



11月29日、金田分館にて小地域見守り・助け合いネットワーク研修会「地域づくりのヒント教えます！ご近所パワーで安心・安全な地域づくり」を開催しました。講師に桂川町の平山一区・二区の福祉部長さん、民生児童委員さんをお招きし、平成4年から続いている地域の福祉活動の取り組みについてお話ししていただきました。平山地区では行政区の中に福祉部会を設置。福祉部会では月に1回、定期的な話し合いの場を設け地域の福祉課題を検討したり、地域内の声かけや支え合いの体制を整えたりしています。また公民館を利用して生きがいづくりの場をつくり、さまざまな交流をおこなっています。またそうした地域の活動に対して桂川町の行政や社協のサポートがしっかりしていることを感じました。研修に参加された43名の地域支え合い体制づくり事業のモデル地区の皆さんや民生児童委員の皆さんから多くの質問がでて、私たちの地域でもできることから始めたいとの感想も聞かれました。



福智町文化祭で防災の啓発



人権と福祉のまちづくり推進委員会の地域福祉部会では、総務課消防防災係と社会福祉協議会の協力のもと、福智町文化祭において「防災」の啓発活動をおこないました。金田分館の1階ロビーにおいて、

ハザードマップや福智町でおこった災害の写真を掲示したり、災害時持出品などの展示、防災に関するDVDの放映などをあこないました。また非常用持出袋約120袋を配布。みなさん喜んで持ち帰っていました。

赤い羽根共同募金運動に ご協力いただきまして 誠にありがとうございました



今年度も平成26年10月1日より12月31日まで、全国一斉に赤い羽根共同募金運動が実施されました。福智町においても、各家庭からの戸別募金・会社や店舗からの法人募金・街頭募金や学校募金、イベントでの募金など、さまざまなところから心あたたまる募金をいただきまして誠に有難うございました。集まりました募金は一旦、福岡県共同募金会へ送金させていただき、来年度配分金という形で福智町に戻ってきます。そして、福智町のさまざまな福祉事業に使われます。募金の詳細につきましては、3月号のきずなだよりでお知らせいたします。期間中は、各行政区の区長さん、組長さん、また民生委員の皆さんに多大なご協力をいただきまして誠にありがとうございました。



福智町身体障害者福祉会には、毎年街頭募金活動のご協力をいただいています。今年も11月4日、スーパー川食赤池店とトレードマート方城店に分かれ募金活動をおこない、32,504円のご寄附をいただきました。また福智町老人会方城支部では、12月5日、ほうじょう温泉にて募金活動をおこない43,607円のご寄付をいただきました。誠にありがとうございました。また市場ふれあい交流では、市場ふれあい交流文化祭にて募金活動をいただき、14,326円の募金をいただきました。有り難うございました。



福智町文化祭では、わたがしとヨーヨーの出店をおこないました。その売り上げ77,503円を共同募金に寄附いたしました。

	今年度の配分金では下記のような事業をおこなっています。
障がい児夏期休暇サポート事業	
心配ごと相談事業	
サマースクールかえるの学校	
情報提供・収集事業	
福祉研修会	
ボランティア活動推進事業	
調査・企画・広報事業	
フレンドシップミーティング事業	
小中学生ボランティア事業	
子育てサロン日本語教室	
福祉教育読本の配布	
救急医療情報キット配布 など	





ふくおか “きずな” フェスティバル

百日草の花言葉は“きずな”♪

入場無料

開催
内容

2015年2月15日

クローバープラザ
春日市原町3-1-7 JR春日駅すぐそば
時間/9時40分～15時30分

開会式典 9:40～10:40
オープニング 9:40～10:10
九州産業大学付属九州産業高等学校吹奏楽部
開会式 10:10～10:40

講 演 10:40～12:10
新しいふれあい社会の創造
～ボランティアのこれから～
講師／堀田 力氏
さわやか福祉財団会長・弁護士

ボランティア活動別分科会
13:30～15:30
◎高齢者
～配食ボラ・サロンボラ・傾聴ボラ～
◎障害児者～就労・交流～
◎災害～災害時のボランティア活動～
◎子育て支援「子育ての極意、教えます」
～ほめる・叱る・抱きしめる～
◎青少年健全育成
～育成・高校生・おやじの会～

☆親子で楽しめるイベント☆
11:00～15:30
○パパと一緒に作ろう！
リサイクルダンボール工作
○親子で、お友達と、ペタペタはり絵教室
○おもちゃの修理
○かんたん！楽しい！パステルアート
○エプロンシアターで学ぶ親子ミニ防災教室
○1針体験、布絵本展示と布遊具で遊ぼう
○皿回し体験とマジック
○つくって☆すまいる
with 大野城市中学生リーダーズクラブ
○楽しい木工工作教室

主催：ふくおか “きずな” フェスティバル福岡県実行委員会 公益財団法人福岡県地域福祉財団
お問い合わせ：福岡県地域福祉財団 振興課 TEL:092-582-2396 FAX:092-582-2415

つながりあう・ささえあう福智町を目指して

福祉入門教室

主催：福智町社会福祉協議会

会場 金田保健センター
(福智町金田 1271)

1 1/28 (水) 笑いと健康

19:00 ~ 20:30 近年、話題を集めている「笑いによる健康」。笑いを通じてすべての人が笑顔で毎日楽しく暮らすための方法教えます！

小ノ上 マン太朗 さん (NPO法人 博多笑い塾理事長)

福岡県出身。イベント会社入社後、独創的で底抜けの明るさとバイタリティから企業運動会の企画を担当、当時は珍しい企画手配から設営運営までを一手に引き受ける「運動会屋さん」でテレビ・新聞紙上を賑わす。日本初、笑いの NPO! 博多笑い塾代表理事。社会笑学者・笑癒研究家として企業や労働組合のリーダー研修・安全大会、各公民館主催の高齢者対策、子育て支援、男女共同参画、町づくり、人権啓発活動などでの『笑いの健康』に関する講演を行う。老若男女問わず誰でも気軽にできる独自の脳内リハビリ『アソビリテーション』の普及にも努め、多くの人を笑いと感動の渦に巻き込み好評を博している。

2 2/18 (水) 孤立しない・させないためのヒント

19:00 ~ 21:00 地域住民同士の見守り活動が重要な現在。孤立しない・させないためのヒント教えます！

吉田 太一 さん (遺品整理専門会社キーパーズ代表)

1964 年、大阪府出身。運送会社に勤務後、28 歳で引っ越し運送業者を始め、日本初の「ひっこしやさんのリサイクルショップ」を開業、メディアの反響を呼ぶ。2002 年、日本初の遺品整理専門会社キーパーズを設立。本業以外にも、孤立死を防ぐための講演活動なども精力的に行っている。著書に『遺品整理屋は見た！』(扶桑社)、『私の遺品お願いします』(幻冬舎) などがある。

3 3/20 (金) 団塊の世代の力を地域に

19:00 ~ 20:30 これから地域活動を支えていくためには団塊の世代の方の「チカラ」が必要です。これからの地域活動の方法を教えます！

村山 浩一郎 さん (福岡県立大学准教授)

主な研究テーマは、地域福祉を推進するための様々な実践や方法について。地域福祉を「児童福祉や高齢者福祉などの対象者別の福祉分野ではなく、地域住民が主体となり、行政や専門職と協働しながら、援助を必要とする人を地域で支えたり、地域の共通課題の解決に取り組んだりする、地域を基盤とした福祉実践」と捉えており具体的には住民による小地域福祉活動、福祉NPO、コミュニティーアークなどの研究をおこなっている。

参加費は無料、関心のある回のみの受講もできます。

申込み・問合せは 福智町社会福祉協議会 地域福祉課 電話：22-3778



赤い羽根共同募金にご協力ありがとうございます。本誌は共同募金の配分によって作成されています。

社会福祉協議会情報 ふれあい 第23号

平成27年1月発行

編集・発行 福智町社会福祉協議会 地域福祉課

所在地

〒822-1201 福岡県田川郡福智町金田1154番地2

TEL: 0947-22-3778 FAX: 0947-22-6678

ホームページ <http://wel-fukuchi.net/>